

RC-135V電子偵察機のパネル落下事故に対する意見書

米空軍嘉手納基地は3月16日、RC-135V電子偵察機が訓練後にアクセスパネル（ファイバーグラス製、約20.3センチ×約25.4センチ、重さ226グラム）を落下紛失し、その時間及び場所については不明と公表した。

同機は米ネブラスカ州オフアット空軍基地所属で、頻繁に嘉手納基地に飛来しており、今回も2月3日に飛来し1カ月半にわたる偵察活動中に起こした事故である。事故後も翌日から飛行していることが確認されており、米軍の無神経さにあらためて強い憤りを禁じえない。

近年、嘉手納基地所属及び嘉手納基地に飛来した外来機からの部品落下事故等が相次いでおり、今年に入り4件目となった。まさに嘉手納基地が危険性の高い基地であることを如実に証明している。

また、3月12日、普天間基地所属のMV-22オスプレイがアルミ製部品（約164グラム）を落下させる事故も発生している。このような異常事態が続くと墜落事故等の大惨事がいつ起こっても不思議ではない。同型機は本町住民居住地上空をたびたび飛行する様子が確認されており、町民に恐怖と不安を与え続け、これまでの議会の抗議要請を受け入れない理不尽な対応に対して厳重に抗議するものである。

については、米軍及び日米両政府に対し相次ぐ落下事故の原因が整備要員の不足か、整備能力が技術的に未熟なのか、機体そのものに欠陥があるのか、これらの要因を速やかに調査し詳細な報告を求めるとともに、なお一層の負担軽減策及び安全性の確保を徹底して図るよう強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、今回の事故に厳重に抗議するとともに下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

1. 事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに公表すること。
2. 整備点検、安全管理を徹底し、再発防止を図ること。
3. すべての米軍機の住民居住地上空の飛行を即時中止すること。
4. 嘉手納基地の機能強化をやめ、負担軽減を確実に進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年3月27日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣
外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長 沖縄県知事

RC-135V電子偵察機のパネル落下事故に対する抗議決議

米空軍嘉手納基地は3月16日、RC-135V電子偵察機が訓練後にアクセスパネル（ファイバーグラス製、約20.3センチ×約25.4センチ、重さ226グラム）を落下紛失し、その時間及び場所については不明と公表した。

同機は米ネブラスカ州オフアット空軍基地所属で、頻繁に嘉手納基地に飛来しており、今回も2月3日に飛来し1カ月半にわたる偵察活動中に起こした事故である。事故後も翌日から飛行していることが確認されており、米軍の無神経さにあらためて強い憤りを禁じえない。

近年、嘉手納基地所属及び嘉手納基地に飛来した外来機からの部品落下事故等が相次いでおり、今年に入り4件目となった。まさに嘉手納基地が危険性の高い基地であることを如実に証明している。

また、3月12日、普天間基地所属のMV-22オスプレイがアルミ製部品（約164グラム）を落下させる事故も発生している。このような異常事態が続くと墜落事故等の大惨事がいつ起こっても不思議ではない。同型機は本町住民居住地上空をたびたび飛行する様子が確認されており、町民に恐怖と不安を与え続け、これまでの議会の抗議要請を受け入れない理不尽な対応に対して厳重に抗議するものである。

については、米軍及び日米両政府に対し相次ぐ落下事故の原因が整備要員の不足か、整備能力が技術的に未熟なのか、機体そのものに欠陥があるのか、これらの要因を速やかに調査し詳細な報告を求めるとともに、なお一層の負担軽減策及び安全性の確保を徹底して図るよう強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、今回の事故に厳重に抗議するとともに下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

1. 事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに公表すること。
2. 整備点検、安全管理を徹底し、再発防止を図ること。
3. すべての米軍機の住民居住地上空の飛行を即時中止すること。
4. 嘉手納基地の機能強化をやめ、負担軽減を確実に進めること。

以上、決議する。

平成27年3月27日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長